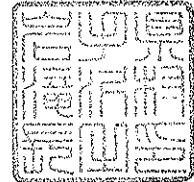


滝道第0506001号

平成19年 5月 7日

国土交通省道路局長 殿

滝沢村長 柳村 典秀



中期計画作成に係る意見の提出について

日頃村政事業の円滑な整備促進につきまして、ご理解とご尽力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、平成19年4月2日付、国道企第114号にて御依頼のありました標記の件について、別添のとおり提出しますので宜しくお願い申し上げます。

中期計画作成にあたっての意見（要望）

本村は厳しい財政状況の中で、地域住民が望むもの（重要性、必要性）をいかに納得のいく形で（話し合い、住民協働）、早期に（スピード感）仕上げるかが道路整備にあたり重要と捉えております。

このような状況のもと、本村では各地域の実情に見合った柔軟な道路整備（例；側溝整備、路肩拡幅、歩道整備等の歩行者安全安心空間の確保）が可能な地方道路整備臨時交付金事業を有効に活用しております。

この事業は交通量、用地など地域の実情に即した設計とすることにより、地域が真に望む必要最小限度の道路の整備を比較的容易に行うことが可能なため、継続することにより短期間で成果を得られるものであります。

中央との格差が叫ばれる今、道路特定財源の一般財源化の動きと併せ、ますます地方への負担増の意識が強まる中において、地方が納得しやすい地域密着型の交付金事業は是非とも継続されるべきものであります。

また特に積雪寒冷自治体に対しては、冬期の除雪費用や年々膨らむ一方の維持修繕費用、補助率のアップ等についても是非ご検討いただきたい事項であります。

（地方道路整備臨時交付金事業が地域に喜ばれ、納得できる背景）

通学路、生活道路の中でちょっと工夫をすれば、皆が使いやすい道路となるといった要望（例：歩行者空間があればいい、等）に対し、村では地域説明会や懇談会を通じて地域が望む案を調整し事業を進めている。

⇒構想から住民参画。住民協働を進める上でも効果的な事業メニュー。

○その他

（高速料金の値下げについて）

村の幹線道路（国、県道）は2車線のため、慢性的に渋滞している。このため本来幹線道路の機能を持たない村道への通過交通が増加し、通学生等の安全が脅かされている状況にある。

高速料金を下げることにより高速道路利用が増え、村内幹線道路の渋滞緩和の効果が生じ、安全安心確保につながる。